

令和4年度

木祖村教育委員会点検・評価報告書

木祖村教育委員会

令和4年度 木祖村教育委員会点検・評価報告書

1	教育委員会関係	3
	(1)教育委員会開催経過及び協議事項等	4
2	学校教育関係	6
	(1)学級編成、児童生徒の状況	6
	(2)通学対策	7
	(3)就学援助費	7
	(4)学校給食	7
3	社会教育、公民館関係	8
	(1)社会教育・公民館関係の会議、行事一覧	8
	(2)公民館学級講座実績	8
	(3)木祖村型コミュニティスクール	9
	(4)青少年健全育成関係	10
	(5)読書活動推進関係	10
	(6)芸術文化関係	10
	(7)二十歳を祝う会関係	10
4	社会体育関係	11
	(1)社会体育関係会議等	11
	○体育協会	11
	○村内一周駅伝大会	12
	○社会体育施設使用調整会議	12
	(2)スポーツ団体等	12
	○体育協会(10種目)	12
	○体育協会以外のスポーツ団体	12
	○ジュニアスポーツ団体	12
	(3)社会体育施設利用状況	12
	○木祖村運動場	12
	○社会体育館・弓道場	12
	○学校開放施設	12
	(4)スポーツ大会・教室等	13
	○村民体育祭	13
5	文化財保護事業関係	13
	(1)文化財保護審議会	13
	(2)木祖村郷土館	13
6	木祖村放課後児童クラブ事業関係	14
7	とちのみ保育園関係	16
8	子育て支援センターみやのもり関係	17
9	教育委員会関係委員名簿	19
10	公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	20
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(社会教育)	20
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(社会体育)	21
	○木祖村教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)	22

1 教育委員会関係

(現状・評価)

教育委員会では、令和4年度において11回の定例会議を開催し必要事項を審議、決定し責務を果たしてきた。

前年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった諸会合も、感染対策に留意した上で開催できる機会を多く持てたことは評価できる。

定例教育委員会は、小学校、中学校へ各2回の授業参観及び給食試食のほか、行事参観を行うなど学校における児童生徒の様子や教職員と子ども達に関わる様子を直接見ることが大切にしてきた。今年度初めて保育園の参観も達成でき良かった。

校長の参加について適宜要請し、子ども達や教職員の様子、運営上の課題等について情報交換すると共に指導の方向について確認し合えるようにしてきた。保育園での開催時には園長とも同様の話し合いができて良かった。

総合教育会議は保護者参観日に合わせて実施し、村長が保護者からの意見要望を聴取できる場として実施できたことは良かった。

就学相談アドバイザーが住民福祉課保健師、保育園、小中学校及び放課後児童クラブと連携した就学支援体制をサポートする形で位置付き、不登校生への対応も含めて関係部署で対象生を理解すると共に保護者への理解を促すことに大きな成果を上げている。

9名に増員されたスポーツ推進委員の主導により、総合型地域スポーツクラブ立ち上げ準備が加速した年度となった。

月1回のあいさつ運動も、民生児童委員の協力をいただきながら定着し高まりを見せている。

「学校は子ども達だけではなく大人も学べる所」という捉えに立ち、もいちど小中学校、すくすく大学事業を展開し、子どもも大人もともに学び合いながら、多世代交流の推進を高めることができた。

(課題)

部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行について、子ども達が満足できる体制づくりを整備したい。

今後ますます進む少子化に対応する学校運営のあり方や、築40年となる校舎の方向性等について検討できる組織を立ち上げ、ビジョンを具体化していきたい。

地域住民が直接学校や子ども達に関われる場をさらに増やすための弾力的なコミュニティスクール運営のあり方等について、具体化できる事業を検討していきたい。

立ち上がった総合型地域スポーツクラブの運営がより順調に推進するような支援体制を構築していきたい。

小中の連携は基より、保小との連携が一層推進できるような支援体制を現場の職員と相談する場を設け具体化していきたい。

(1) 令和4年度教育委員会開催経過及び協議事項等

会 合	期 日	会 議 事 項
4月定例	4月25日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新規事業 すくすく大学構想について (2) 木祖村社会教育委員の委嘱について (3) 木祖村公民館運営審議会委員の委嘱について (4) スポーツ推進委員の委嘱について (5) 木祖村文化財保護審議会委員の委嘱について (6) 令和4年度木祖村公民関係役員について (7) 令和4年度木祖村立小中学校学校評議員の委嘱について
5月定例 (会場 木祖小学校)	5月12日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度奨学金貸与について (2) もいちど小中学校事業について (3) すくすく大学事業について (4) 令和4学校経営概要について (5) 小中教委合同研修会について (6) 令和4木曾郡町村教育委員会研修総会(6/3大桑村)について (7) 令和4年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会(栃木大会)中止の件
6月定例 (会場 木祖小学校)	6月29日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校教室訪問・給食試食について感想等 (2) 木祖小学校の現況報告 (小河校長) (3) コロナ対応の現況について (4) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (5) すくすく大学事業について (6) 令和4年度小中学校体力向上プランについて (7) 令和4年度非違行為防止研修について (8) 令和4年度民生児童委員と学校職員との懇談会(6/23)報告 (9) いじめ防止基本方針について (10) 小1生による定時放送について (11) もいちど小中学校(6~7月)について (12) 木祖中学校版キャリアデー(6/9)報告 (13) 令和4木曾郡町村教育委員会研修総会(6/3大桑村)報告 (14) 県市町村教育委員会研修総会(佐久市10/21)レポート発表について
7月定例 (会場 木祖中学校)	7月21日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 中学校教室訪問について感想等 (2) 木祖中学校の現況報告 (手塚校長) (3) 1人1台端末活用の進捗状況について (4) 県市町村教育委員会研修総会(佐久市10/21)の開催について ・提出レポート発表について (5) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (6) 木祖中キャリアデー実施報告 (5) 代議員と県教育委員会との行政懇談会報告 (6) 令和4中学校部活動関係の大会参加報告 (7) 小学校150周年記念事業「記念誌作成」の状況報告 (8) 二十歳を祝う会(8/14)について
8月定例 (会場 とちのみ保育園)	8月26日	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保育園の様子について現況報告 (2) 令和4年度全国学力状況調査について (3) 令和3年度木祖村教育委員会点検評価報告書について (4) 教職員の勤務状況調査報告 (5) 令和4年度私立学校生奨学補助金について (6) 県市町村教育委員会研修総会(佐久市10/21)提出レポートについて (7) コロナ対応の状況について (8) 県教委と市町村教委との懇談会報告

9月定例 10月定例 (会場 木祖中学校)	9月30日	(1) おおとり祭参観 見学をして (2) 9月議会報告 (3) コロナ対策の状況について (4) すくすく大学中間アンケート集計結果について (5) 令和4年度県市町村教育委員会研修総会開催方法について (6) 中学生自主学习見守り協力員について (7) 平和と人権講演会(11/16)について (8) 学校における働き方改革について調査集計 (9) 今後のもいちど小中学校行事について (10) 木祖小学校マラソン記録会(10/20)について (11) 保育園運動会(予備日)について (12) 公民館分館展示会・芸能祭・村内一周駅伝大会について
11月定例 (会場 木祖村民センター)	11月16日	(1) 平和と人権講演会に参加 講師 飯島春光 先生 演題 木祖村から考える「満州」・戦争・松代大本営
12月定例 (会場 木祖中学校)	12月14日	(1) 中学校教室訪問・給食試食について感想等 (2) 木祖中学校の現況報告 (手塚校長) (3) 全国学力状況調査・部活動の地域移行について (4) 12月議会の報告 (5) 新型コロナウイルス対応について (6) 令和4年度総合教育会議の持ち方について (7) 木祖小中学校のあり方検討会組織の立ち上げについて (8) 小学校150周年記念誌作成の進捗状況 (9) 村安全対策協議会(12/22)について (10) 県教委との懇談事項に関わる質問・意見・要望について (11) 令和5年度関東甲信越静市町村教育委員会研修会(埼玉大会)について
1月定例 (会場 木祖小学校)	令和5年1月23日	(1) 小学校教室訪問・給食試食について感想等 (2) 木祖小学校の現況報告 (小河校長) (3) 総合教育会議(2/20)の持ち方について (4) 小中学校のあり方検討会について (5) 令和4年度学校保健委員会について (6) 教育七団体陳情採択書について (7) 時間外勤務時間等調査結果から (8) 令和5年度当初予算について (9) 令和5年度年間行事案について (10) 令和5年度小中学校学級編制案について
2月定例 (総合教育会議) (会場 小学校ランチルーム)	2月20日	(1) 総合教育会議 ・小学校低学年保護者の意見聴取も含めて実施
3月定例 (臨時)	3月15日	(1) 令和4年度末小中学校関係職員の人事異動について (2) 令和5年度当初の確認事項について

2 学校教育関係

(現状・評価)

小学校・中学校は、それぞれ児童生徒の発達段階を見通しての教育目標を掲げ運営をしてきた。目標の中でコミュニティスクールとの連携について「人・もの・こと」との関わりを大切にすると共通に明示し、具現を目指している。

地域と共にある学校を見据えたコミュニティスクール組織との連携を継続的に進めるために、学校評議員とコミュニティスクール運営委員との合同会議（懇談会）を開き、より目的に合った方向を見出すようにしてきた。

コロナ禍でも新しい生活様式を教職員、児童生徒、保護者がよく理解し取り組んでいただき学校を概ね計画どおり通常に運営できた。

GIGA スクール事業で配備した1人1台端末の家庭への持ち帰りを本格実施し、学校における授業と家庭での学習の両面での活用が進んでいる。

学校評価を年間計画に位置づけ、結果については学校便りや校長講話による公表を積極的に行いPDCAサイクルに基づき向上に努めている。

不登校生への対応の仕方について対象生、保護者に加え外部機関との連携を密にしながら取組を継続している。

(課題)

児童生徒数が減少する中、現況に応じ県費職員を確保するなど学校や県教育委員会の力を借りながら最大限の教育条件を整えたい。

村費加配の支援員や中学校の数学、英語講師についても継続配置できるよう学校とも連携しながら人材の確保に努めたい。

長期欠席傾向の児童生徒には、家庭はもとより、外部機関とも連携しながら、ねばり強く継続的に向き合い義務教育修了後の進路が具体的に選択できるように導きたい。

今後ますます進む少子化の中でどのような学校運営を目指すかは大きな課題だが、村の実情に合った学校のあり方を村全体で考えて行く時期にさしかかりつつあるので、その体制整備について検討したい。

(1) 学級編成、児童生徒の状況 (令和4年5月1日 学校基本調査より)

木祖小学校					木祖中学校			
学年	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
1 学年	1	8	14	22	1	10	8	18
2 学年	1	6	7	13	1	7	12	19
3 学年	1	8	9	17	1	8	12	20
4 学年	1	6	14	20	\			
5 学年	1	7	13	20				
6 学年	1	9	13	22				
特別支援	2	5	2	7	2	2	2	4
合計	8	44	70	114	5	25	32	57

前年比+2

前年比-8

小・中学校児童・生徒数の推移と見込

(R5.6.1現在)

比率は対令和3年度比

区分	年度	3	4	5	6	7	8	9	10
	学年								
小学校	1	13	22	8	16	18	11	9	9
	2	16	13	22	8	16	18	11	9
	3	21	17	13	22	8	16	18	11
	4	20	20	16	13	22	8	16	18
	5	21	20	20	16	13	22	8	16
	6	21	22	20	20	16	13	22	8
	小計 人	112	114	99	95	93	88	84	71
	比率 %	100.0	101.8	88.4	84.8	83.0	78.6	75.0	63.4
中学校	1	19	18	21	20	20	16	13	22
	2	20	19	18	21	20	20	16	13
	3	26	20	19	18	21	20	20	16
	小計 人	65	57	58	59	61	56	49	51
	比率 %	100.0	87.7	89.2	90.8	93.8	86.2	75.4	78.5
小中学校 総合計 人	177	171	157	154	154	144	133	122	
全体比率 %	100.0	96.6	88.7	87.0	87.0	81.4	75.1	68.9	

- 1) 小学生、中学生とも今後減少傾向となる。
- 2) 小学校児童数は年々減少し1クラス10人台、全校生徒80人以下へと推移する。
- 3) 中学生生徒数は令和8年度以降に減少が顕著となる見込み。
- 4) 全体数を見ても令和8年度以降に減少が顕著となる見込み。

(2) 通学対策

小木曾・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校6,768千円、中学校6,707千円を支出した。また、スクールバスの運行経路が確保できない児童について、「たんぼぼ号」で通学の足の確保を行っている。

(3) 就学援助費

準要保護児童・生徒世帯に合計541千円を扶助した。

(4) 学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士1人、調理員4人体制で、小学校197日、中学校198日の給食を供給した。

児童・生徒のより一層の安全安心確保の観点から、給食食材について、長野県学校給食安心安全対策事業を実施した。地産地消事業として、地元産米の提供や生産者グループ「愛菜」や「きそむら道の駅」と連携し、地元産野菜を給食食材に提供している。

また、令和4年度は物価高騰に伴う給食費の不足分を補うため1,157千円を公費で負担した。

3 社会教育、公民館関係

(現状・評価)

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により社会教育の根本でもある「人が集う」ことが難しくなったが、社会教育の機会を止めないために、感染対策を講じた上でできるだけ事業を開催するようにした。

社会教育計画に示されている「趣味・特技の向上や木祖村の自然・歴史・文化等を学ぶ学級講座の開講」「子どもから高齢者まで気軽に参加でき、村民同士が触れ合える行事の開催」の主旨に沿った内容で実施した。

文化祭は感染対策を講じて実施し、今年度は芸能祭を社会体育館で展示会と同時開催した。

源流図書館は開設14年目となり、昨年度のコロナ禍とともに広がったステイホームによる図書館需要が落ち着いたことにより、前年比は貸出冊数103.5%と来館者数80.3%(令和3年度：貸出冊数89.0%と来館者数86.1%)となった。また、電子媒体で図書を提供する「デジとしょ信州」事業が開始され、個人のパソコンやスマートフォンで読書を楽しむことができるようになった。

(課題)

今年度もコロナ禍によってこれまでの課題であった参加者の減少や固定化、男性や若年層の参加率の低さがさらに深刻なものとなってしまった。そのため、小中学生の参加するすくすく倶楽部と共催し、子どもと高齢者の多世代交流だけでなく、子どもの親世代が社会教育に触れる機会を増やすことで将来的な参加者の維持に繋げていきたい。

分館においては、わら原分館の委員の成り手不足などの問題を解消するため、わら原分館と藪原分館の統合について、検討を始めた。この問題は引き続き、わら原分館に限らず、村全体として考えていくべき重要課題であることに変わりない。

源流図書館については開館以降、依然として来館者数の地域差が非常に大きく、利用の少ない地域から来ていただくことが継続課題である。そして、コロナ禍により高まった図書館需要が落ち着きを見せたため、これからも図書館への関心を持ってもらう機会を増やし、身近な図書館づくりを進めていきたい。

(1) 社会教育・公民館関係の会議、行事一覧

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に努めた。また公民館主催行事への運営に協力をいただいた。

令和4年度 社会教育、公民館関係の主な会議・事業一覧

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数
4月8日	木曽郡公民館運営協議会 定期総会	開田母子健康センター	2
4月15日	公運審・正副分館長主事合同会議	木祖村役場	18
5月16日	木曽郡社会教育委員連絡協議会定期総会及び研修会	木曽町役場	2
6月13日	中信地区社会教育委員連絡協議会総会及び研修会	県総合教育センター	2
6月15日	長野県社会教育委員連絡協議会定期総会	オンライン	2
8月14日	令和4年度二十歳を祝う会	村民センター	40
9月29日	長野県公民館大会	上田市サントミュージゼ	欠席
10月29～30日	第49回木祖村文化祭、芸能祭	村内	634
11月6日	第61回木曽郡公民館大会	木曽文化公園	6

(2) 公民館学級講座実績

昨年度は、新型コロナウイルス感染症により25講座のうち5講座が完全中止となっていたが、今年度は、感染対策を講じたり、開催規模縮小など従来とは実施方法を変更しながら事業を実施することができた。今年度は、昨年度中止となった県内研修として、6月に長野市の善光寺御開帳、県立美術館へ、10月に松代象山地下壕、上田市無言館と2回の視察研修を実施することができ、人権、平和学習と文化芸術に触れる機会となった。また、11月には中学校との共催による木祖村満蒙開拓団について、講演会を開催し83名の参加があった。また、新規講座として、絵手紙教室を開催することができた。昨年度からの継続講座の農業体験教室、おとなのスキー・スノーボード教室、音楽教室、陶芸教室などが人気の講座となっている。

実績詳細はP20「教育委員会・公民館学級講座」参照。

(3) 木祖村型コミュニティスクール

(現状・評価)

学校は子ども達の教育を向上させる場であると同時に地域社会の大人達が学ぶ場でもあるという考えに立脚して、コミュニティスクール（CS）の意義が深まりを見せている。

コロナ禍の制約を多少は受けながらも可能な範囲で、もいちど小中学校事業を推進できた。子どもと一緒に行事への参加、授業参観、給食試食、環境整備作業等を通じ、参加者の満足感にもつながったと評価できる。

公民館長をコーディネータとして位置づけ、できる限り学校側に負担がかからないように支援者依頼など配慮して活動をしている。

学習活動に地域の人材力を活用することについて、学校はもちろん支援にかかわる方々もそれぞれの良さをお互いに感じられるようになってきている。具体的には、蕨原祭りやお六指指導、事業所説明会（キャリアデー）での村内事業所の参加意欲が年々高まりを増していることなどが挙げられる。

小中学校の環境整備作業では PTA や親子に加えて、もいちど小中学校生をはじめボランティア協力を募り参加して成果を上げることができた。

教員の働き方改革の推進、中学生の公民館サークル事業への参加、多世代交流の推進をねらった CS 組織の一助としてのすくすく大学事業を立ち上げ実施できた。

(課題)

今後、少子高齢化がさらに進む中で、学校支援ボランティア人材をどのように確保していくかは大きな課題である。

もいちど小中学校事業のように気軽に参加できる企画運営を考えて行きたい。

子ども達のため、学校のためにひと肌脱いでも協力を惜しまない人材を広く求める営みを CS 運営上どのように位置づけるかが課題。同時に協力することが本人の楽しみややりがいにつながるような企画運営を心がけたい。

幅が広がりつつあるすくすく大学事業を大人と子どもと一緒に活動できる公民館講座やサークル活動に位置づけ、多世代交流や参加者の生きがいつくりに結びつけられるよう展開していきたい。

(主な実施事業)

・社会見学ボランティア ・農業体験 ・朗読ボランティア ・校庭草取り作業ボランティア
・おおとりの時間への指導参加 ・地元事業所を知るキャリアデー協力 ・校内消毒作業ボランティア
・ゲスト講話 ・パソコンタブレット活用自主学习見守り ・すくすく大学事業による公民館講座、サークルの合同活動

(4) 青少年健全育成関係

7月の県下一斉啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用高校生を中心に啓発活動を実施した。11月の有害環境一斉点検では村内11店舗の小売店・飲食店に協力を呼びかけた。

月 日	会議・事業名	開催場所	参加者数	備 考
5月12日	木祖村青少年育成連絡協議会総会	書面開催	—	
7月1日	強調月間 社会を明るくする運動 啓発活動	藪原駅	7	啓発物品145部配布
11月1日	強調月間 有害環境一斉点検	村内	2	11店舗

(5) 読書活動推進関係

平成21年に開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。ここ5年間の貸出冊数と来館者数から、貸出冊数は1,700冊以上の基準を保っているが、来館者数についてコロナ禍により延べ500名を下回った。村外からの利用者も見られるようになってきたが、引き続き村内利用の地域差の縮小に努め、読書活動の推進に繋げたい。

運営状況：平日午後1時～午後6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜定休日

令和4年度開館日数：289日 利用冊数：一般1,783冊＋中学生8冊

新規利用登録者(累計)数：藪原4(207)名、菅0(35)名、小木曾3(123)名、村外0(6)名

計7(371)名

図書館協力員（有償ボランティア）10名程が半日を単位に交代勤務している。

源流図書館貸出冊数

年度	29	30	元	2	3	4
4月	152	150	130	121	135	173
5月	135	167	122	146	114	154
6月	170	184	141	167	116	110
7月	174	178	200	192	149	169
8月	146	150	155	151	138	104
9月	157	174	156	200	149	151
10月	144	190	149	198	184	159
11月	123	185	140	170	157	210
12月	152	172	161	181	190	181
1月	139	167	120	152	154	156
2月	131	140	87	129	93	82
3月	101	119	149	139	152	142
合計	1,724	1,976	1,710	1,946	1,731	1,791

源流図書館来館者数

年度	29	30	元	2	3	4
4月	46	69	41	27	42	40
5月	53	57	43	44	38	36
6月	55	61	58	72	49	35
7月	57	70	70	66	47	42
8月	55	62	71	54	48	35
9月	46	74	53	71	52	40
10月	41	89	53	65	61	38
11月	49	79	55	57	57	48
12月	49	78	69	59	56	39
1月	54	59	55	55	46	46
2月	66	87	46	55	39	31
3月	38	48	57	53	49	39
合計	609	833	671	678	584	469

(6) 芸術文化関係

第49回を迎えた文化祭展示会と芸能祭は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行った上での開催となった。展示会については、10月29日～30日の2日間で村内5会場での開催となった。展示会では個人やサークル活動の作品を中心に、公民館・小学生陶芸教室の作品、各分館の企画展示を実施した。今年度もプレゼント付きの「文化祭展示会スタンプラリー」を実施し、昨年比微増ではあるが来場者数634名となった。

芸能祭については、コロナ禍において2年連続でケーブルテレビ撮影を行い、正月の特別番組として放映する形での実施となっていたが、各サークル、出演者等の意見を聞き、社会体育館の展示会会場において、同時開催で10月29日に7団体の出演で実施した。

文化祭は日ごろの公民館やサークル活動の発表の場として定着していたが、新型コロナウイルス感染症により活動を自粛し続けているサークルもあるため、活動や発表の場が失われることのないよう引き続き支援していきたい。そのほか、木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力を実施した。

(7) 二十歳を祝う会（旧成人式）関係

令和4年4月に成人年齢が20歳から18歳へ引き下げられたことにより、旧来の成人式のあり方について検討を行い、従来どおりの20～21歳の方を対象に、名称を「二十歳を祝う会」に変更して令和4年8月14日に開催した。新型コロナウイルス感染対策として、祝賀会を取りやめ、来賓は恩師と正副村議会議長のみと大幅に縮小し、式典のみの開催とした。対象者には、健康観察チェックシートの提出と遠方からの参列希望者には、リモート参加ができるようオンライン会議システムも導入した（実施なし）。

開催日時・場所：令和4年8月14日 午後1時30分～午後2時30分 村民センターホール

対象者：平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの木祖小中学校卒業生および村内在住者21名

出席者：対象者18名、恩師8名、来賓2名、主催12名 計40名

4 社会体育関係

(現状・評価)

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「体力アップ教室」、「ヨガ教室」、「エアロビ教室」、「水中運動教室」を行った。

小学生を対象とした「すくすく倶楽部」については今年度も学校児童の70%以上の登録があった。児童数は減少しているにもかかわらず、参加者は年々増加している。コロナ禍で中止となった事業もあったが、開催した活動には多くの児童が参加し体を動かしたり体験をすることができた。

源流トラッククラブは40名を超える登録者で基礎体力作り、運動能力の向上を目的に活動をしている。開催された大会には大勢参加することができた。また、寺平祈愛さんの全国レベルの活躍等により、村外から指導を希望する生徒を受け入れるようになった。

第64回村内一周駅伝大会が令和元年の第61回大会以来、3年ぶりに開催された。参加者数はコロナ禍前より減ったものの、250名を超える選手をはじめとする関係者が参集する行事となった。体協各部主催の村民体育祭もコロナ禍以来の開催となった。

多くの村民が様々なスポーツをする機会を増やし、スポーツを通じて人との交流ができる環境を整え、いつまでも健康に生活できることを目的に、木祖村総合型地域スポーツクラブの令和5年春設立を目指して、設立準備委員会を立ち上げた。その前段階として、これまで種目・団体ごとに加入していたスポーツ保険を村で一括して手続きができるようにした。

(課題)

これまで挙げられてきた「教室参加者の固定化」「男性の参加者が増えない」「スポーツ団体の構成員の減少」等に善処するために総合型クラブを設立し、より多くの村民がスポーツ（する・みる・ささえる）にかかわれる機会を増やしたい。

また、中学校部活動の地域移行により、地域の指導者や活動場所の確保が課題となっている。これは郡体協でも問題視されており、総合型クラブ設立により町村の壁を取り払った課題解決ができることを期待したい。

(1) 社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。

○体育協会

令和4年度 体育協会関係会議・事業

月 日	会 議 ・ 事 業 名	開催場所
4月20日	村体育協会代議員会	役場2F大会議室
5月14日	木曾郡体育協会定期総会	上松町
7月31日	木曾郡総合体育大会開会式	大桑村
9月14日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月16日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月19日	木曾郡総合体育大会冬季スキー大会	御嶽スキー場

○村内一周駅伝大会

11月3日(木)、第64回木曾川源流村内一周駅伝大会を3年ぶりに開催。当日は17チーム、総勢85名の選手が参加し、「藪原下町Aチーム」が優勝を果たした。140名余の大会関係者や村民の皆様のご協力により無事大会を終えることができた。

○社会体育施設使用調整会議

令和4年度 社会体育施設使用調整会議

月 日	会議・事業名	開催場所
7月20日	使用調整会議 (8～11月)	役場2F大会議室
11月30日	使用調整会議 (12～R5.3月)	役場2F大会議室
3月16日	使用調整会議 (R5.4～7月)	役場2F大会議室

(2) スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に21団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行っており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

○体育協会 (10種目)

スキー部 野球部 剣道部 射撃部 弓道部 ソフトボール部 バドミントン部
ゴルフ部 卓球部 マレットゴルフ部

○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バasketボールサークル フットサルクラブ
木祖アズールVC (バレーボールクラブ：小学生から大人)

○ジュニアスポーツ団体

学童野球 少年野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部
ジュニアフットサルクラブ

(3) 社会体育施設利用状況

○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球 少年野球

○社会体育館・弓道場

定期利用 体育協会 (剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部)
体協以外 (ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・バasketボールサークル)
ジュニア (ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・ジュニアフットサルクラブ)
雨天時のみ (学童野球・少年野球)
冬期間のみ (体協野球部・体協ソフトボール部・学童野球・少年野球)
その他 夏季休暇中に村外7団体利用 (令和3年度は全てキャンセルであった)

※夏場は合宿等の利用が多いが、村内スポーツ団体等の利用が出来ない時も見受けられるため、今後の利用方法や村外予約関係についても検討をしていく必要がある。

○学校開放施設

- ・木祖小学校体育館・校庭
利用団体 (学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・ミニバス教室・源流TC・
低学年運動教室・幼児運動教室)
- ・木祖中学校体育館・校庭
利用団体 (フットサルクラブ・体協バドミントン部・木祖アズールVC・源流TC)
- ・その他 夏季休暇中に村外1団体利用

(4) スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。一般村民向けには、健康づくりや身体づくりをねらいとした教室を開催した。また、体協各部の協力により、スポーツの日を中心に村民体育祭を開催した。

○スポーツ教室

小中学生対象 すくすく倶楽部・源流トラッククラブ

一般対象 エアロビ教室・シェイプアップ教室・体力アップ教室・ヨガ教室・水中運動教室
・各詳細については別途一覧参照 (P21、22)

○村民体育祭

(開催日)

教委主催 ソフトバレー大会 (共催) 中止
フットサル大会 (共催・11月26日(土)開催)

各部主催 バスケットボール大会(9/30)・卓球大会(10/3,7)・少年剣道大会(10/6)・
弓道大会(10/6)・マレットゴルフ大会(10/10)・バドミントン大会(10/28)・
ゴルフ大会(10/30)

・その他の大会等は別途一覧参照 (P21)

5 文化財保護事業関係

(現状と評価)

文化財保護審議会の活動について、県、郡主催の研修会等へ参加したほか村審議会定例会の開催と委員による村内の文化財パトロールを中心に活動を行った。
また木曾ペインティングス主催の企画展を郷土館を無料開放して開催し期間中213名の方にご来場いただいた。

(課題)

木曾地域が日本遺産に認定され7年が経過し、今後も文化財を活用した地域振興について様々な角度から観光産業との連携も引き続き進めていく必要がある。
郷土館等の文化財伝承施設や文化財の掘り起しについて、専門職員がないことから文化財保護審議委員に頼っている現状である。今後は学芸員の配置など後世につなげていく体制づくりの検討が必要であると思われる。

(1) 文化財保護審議会

審議会の開催 (1回) のほか研修会への参加や文化財パトロール (グループごとに随時) などを実施している。

【審議会・研修会等】

年 月 日	内 容	場 所
令和4年5月25日	木曾郡連絡協議会研修総会	大桑村
令和4年6月30日	第1回文化財保護審議会	木祖村
令和4年9月11日	県文化財保護協会木曾大会	木曾町
令和4年11月7日	県文化財保護研修会	伊那市

(2) 木祖村郷土館

令和4年度の有料入場者数及び入場料は、下表のとおり。

【木祖村郷土館有料入場者数等】

一般	団体	小中学生	合計
300円	200円	100円	
123名	30名	4名	157名
36,900円	6,000円	400円	43,300円

6 木祖村放課後児童クラブ事業関係

(現状・評価)

ここ近年登録人数は横ばいだが、毎日の利用人数は令和3年度より増加傾向にある。中学年、低学年の利用が伸びていることに加え、高学年になっても利用が保持されていることが要因。

学校の下校時間前に子どもの姿の共有やその日の活動や気を付けたい事項の打ち合わせ、消毒・換気等を行い、安全に過ごせる環境を整えている。また、月1回打ち合わせ会を開催し、子どもの姿や行事について協議している。その際、専門のコーディネーターを交えた勉強会も行っている。郡内の定例会では情報交換や学習会を行っている。

(課題)

30人近くの児童が利用する日も多い中、特別な支援を必要とする児童が増えており、支援員としての関わりが難しく負担が大きくなってきている。

専門のコーディネーター、小学校との情報交換や相談を定期的に行うなど連携の機会をつくり、より有効な支援の仕方について考えていきたい。また、支援員が少ないことに加え高齢化も課題となっている。

木祖村放課後 児童クラブ利用状況

1. 平成29年度～令和4年度登録児童数

年度 学年	29	30	元	2	3	4
1	11	11	14	13	9	20
2	7	10	15	13	12	10
3	7	11	11	18	10	12
4	12	6	11	9	13	8
5	6	4	3	10	6	13
6	5	2	5	1	3	6
合計	48	44	59	64	53	69

2. 平成29年度～令和4年度開所日数

年度 種別	29	30	元	2	3	4
登校日	204	204	192	202	203	202
長期休	32	28	39	35	33	34
振替休	4	6	5	1	4	5
土曜日	11	13	15	13	2	4
合計	251	251	251	251	242	245

3. 月別利用者数

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
平日	日数	17	18	21	14	10	19	19	20	18	16	19	11	202
	延人数	395	380	459	334	216	400	400	402	403	351	444	245	4,429
	平均人数	23	21	22	24	22	21	21	20	22	22	23	22	22
振替休日	日数	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	4
	延人数	-	-	6	10	-	5	5	-	-	-	-	-	26
	平均人数	-	-	6	10	-	5	5	-	-	-	-	-	7
土曜日	日数	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
	延人数	0	0	3	2	0	3	0	0	2	0	0	0	10
	平均人数	0	0	3	2	0	3	0	0	2	0	0	0	3

木祖村放課後 児童クラブ利用状況

4. 平成29～令和4年度振替休業日数、児童数

年度	区分	3月	6月	7月	9月	10月	合計
29	日数	1	1	0	1	1	4
	延人数	9	8	0	6	8	31
	平均人数	9	8	閉所	6	8	31
30	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	6	5	2	4	8	25
	平均人数	6	5	2	4	8	25
元	日数	1	1	1	1	1	5
	延人数	6	11	3	17	27	64
	平均人数	6	11	3	17	27	64
2	日数	0	0	0	1	0	1
	延人数	0	0	0	8	0	8
	平均人数	0	0	0	8	0	8
3	日数	0	1	1	1	1	4
	延人数	0	2	0	6	1	9
	平均人数	0	2	0	6	1	9
4	日数	0	1	1	1	1	4
	延人数	0	6	10	5	5	26
	平均人数	0	6	10	5	5	26

5. 令和元年～令和4年度土曜日開所日数、児童数

月	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	日数	延人数	日数	延人数	日数	延人数	日数	延人数
4	2	2	1	1	2	当日キャンセル	0	0
5	1	2	1	1	2	0	0	0
6	2	3	2	2	3	0	1	3
7	2	2	3	2	1	0	1	2
8	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	当日キャンセル	2	2	1	2	1	3
10	1	1	2	2	3	0	0	0
11	1	1	0	0	3	0	0	0
12	1	1	1	1	2	0	1	2
1	2	2	0	0	2	0	0	0
2	2	1	1	1	2	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	15	13	12	21	2	4	10

6. 平成29～令和4年度長期休業日数、児童数

年度	区分	1月	3月	4月	7月	8月	12月	合計
29	日数	3	9	2	3	13	2	32
	延人数	18	74	23	37	166	11	329
	平均人数	6	8	12	12	13	6	57
30	日数	2	8	3	3	11	1	28
	延人数	16	87	34	37	130	6	310
	平均人数	8	11	11	12	12	6	60
元	日数	3	19	3	3	10	1	39
	延人数	38	254	50	59	175	12	588
	平均人数	13	13	17	20	18	12	93
2	日数	4	9	10	0	11	1	35
	延人数	15	76	46	0	222	3	362
	平均人数	4	8	15	0	20	3	50
3	日数	3	10	3	5	10	2	33
	延人数	16	117	25	104	136	13	411
	平均人数	5	12	8	20	14	7	66
4	日数	3	11	3	5	10	2	34
	延人数	19	194	65	143	159	26	606
	平均人数	6	18	22	29	16	13	104

7 とちのみ保育園

(現状・評価)

「保育士主導の保育」から「子どもの主体性を大切にする保育」へと保育指針が改訂され、とちのみ保育園でも子どもの主体性を重視した保育活動に取り組んでいる。保育方針については園内研修を行い全体の保育環境設定や「子どもの主体性」を大切にする環境づくりについて職員で話し合いを重ねているが、保育士によって「主体性」の解釈に違いが生じ自主性と放任との区別があいまいになる場面も見られた。

引き続き新型コロナウイルス感染対策を講じながら普段の保育や園内で行う行事は実施した。しかし、こだまの森でのマスクかみなど村外の人とも接触する可能性がある行事については保護者会と相談し中止とした。また新型コロナウイルス感染症が園内でまん延した際には休園措置をとり、特別希望保育のみを実施した。(2回)

保育園の活動を保護者や地域の方にも知ってもらうため、ドキュメンテーション(写真を取り入れた表現方法)を用いた回覧やおたより等の作成を行った。

コロナ禍により各種研修がオンラインで行われるようになったが、積極的に研修に参加し保育の資質向上を図った。

参観日を利用して親子で木に触れて楽しめるよう木育に取り組み、園児が木のおもちゃに触れる機会が一層多くなった。

(課題)

「子どもの主体性を大切にする保育」への解釈が職員ごと違っている場面が見受けられるので、引き続き研修や園児の姿を通して、子どもの理解を図りながら保育士一人一人の資質向上に努めていきたい。

○運営費関係

保育所運営費は、下表のとおり80,041,297円で、その内人件費は71.2%の57,005,204円となっている。歳入については、保育料及び諸収入が全体の4.5%、村負担は93.85%となっている。

延長保育利用者は増加しており、午後4時半以降も利用している園児は多くいる。

保育園縁側が老朽化のため、過疎対策事業債を使い改修工事を行った。

(1) 園児数(令和5年3月現在)

定 員		80名
入 所	未 満 児	13名
	3 歳 児	18名
人 員	4 歳 児	16名
	5 歳 児	8名
	計	55名

(2) 運営費

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	保育料・延長保育料	2,537,910円	3.17%
	国補助金	689,000円	0.86%
	県補助金	597,000円	0.75%
	村負担分	75,117,287円	93.85%
	諸収入	1,100,100円	1.37%
	歳入合計	80,041,297円	100.00%
歳 出	保育所運営費	69,442,687円	86.80%
	(内人件費相当分)	57,005,204円	71.20%
	施設管理費	10,598,610円	13.20%
	歳出合計	80,041,297円	100.00%

(3) 保育内容

○保育日数 : 291 日

○通常保育 : 平日 午前8時30分～午後4時30分

○希望保育 : 土曜日 午前8時30分～午後1時00分

○延長保育

・平日 : 早朝保育 午前7時30分～午前8時30分
延長保育 午後4時30分～午後6時30分

・延長保育料 : 30分(1単位 50円:減免規定有)

・徴収額 : 63,900円

・利用人数 : 25名(延べ利用人数99名、月平均8.25名)

・登録世帯 : 20世帯

8 子育て支援センター

(現状・評価)

出生数も年10人前後となる中、早くから仕事復帰を希望し、3歳未満から保育園に子どもを預けるケースが増えているため支援センターを利用する保護者はかなり減少している。
一時保育の利用目的としては、保護者自身がリフレッシュ目的で一時的に保育から離れる形態で利用されることが多い。

(課題)

子どもが1歳になると仕事復帰される保護者が年々増加しており、支援センターを利用する保護者が少なくなっている。全国的にも同様の傾向が見られ、他自治体では従来の事業に加えプレママ（妊娠期）への支援事業を実施している支援センターもある。本村においても事業内容を見直し妊娠からの支援を検討したい。

○利用状況

子育て支援の中心となる子育て支援センターみやのもりでは、通常の利用者の他、各種講座（ベビーマッサージ・救急法・ママ塾・子育てサロン・歯科、栄養指導）等を実施している。また、母親の心の負担を軽減させるために外部の相談員をお願いし、子育て支援センターの利用者・保育園の保護者を対象に、コーチングカフェ（個別相談）を平成30年度から開催し、年々定着し年3回定期的に開催しているが、それ以外にフォローが必要なため、1～2ヶ月に1度個別相談を実施している。

年2回開催しているおさがり会は、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため1回目は村内者のみの開催にし、2回目は村外者も参加できるようにした。地域や年齢で時間を分けて行い延べ81組160名の参加があった。なお、新型コロナウイルス感染症拡大予防により、園開放は中止とした。

一時預かり事業については令和元年度から平日だけでなく土曜日・特例日も行うようになり（午前8時30分～午後1時30分）令和4年度の一時的保育における利用者は12名であった。

新型コロナウイルスの感染拡大予防により、子育て支援センターの休所もあったため、昨年度に比べると開所日数及び利用者は減っている。

(1) 子育て支援センター関係

- 開所日数：287日《内、土曜日52日》（一時保育を含む）
- 利用総人数：941名（一時保育を含む）
- 利用登録世帯数：35世帯 村外者登録料 1世帯2,000円）
- 1日平均利用者：3名
- 利用料（登録料）総額：2,000円

(2) 一時保育関係

- 実施日数：150日
- 利用総人数：234名
- 利用総時間：1,059時間
- 利用料総額：424,000円

(3) 子育て支援センター運営費

項 目		決 算 額	比 率
歳 入	国補助金	3,533,000円	22.70%
	県補助金	3,574,000円	22.90%
	村負担分	8,028,384円	51.60%
	利用料(登録料含む)	428,000円	2.80%
	歳 入 合 計	15,563,384円	100.00%
歳 出	運 営 費	15,563,384円	100.00%
	(内人件費相当分)	12,132,859円	78.00%
	歳 出 合 計	15,563,384円	100.00%

(4) 令和4年度子育て支援センターみやのもり利用状況

月	開所 日数	利 用 総人数	利用者 無し日	なかよし広場（開放）			一 時 保 育					
				平日	土曜日	累計	日数	人数	総時間	時間外		
										日数	人数	時間
4月	25	31	14	15	0	15	8	9	53.5	0	0	0.0
5月	23	51	12	29	0	29	5	7	39.5	1	1	0.5
6月	23	153	4	11	0	14	15	19	106.0	5	5	2.5
7月	24	56	6	15	0	15	13	16	83.0	2	2	1.0
8月	26	72	4	5	0	5	20	34	169.5	0	0	0.0
9月	24	45	10	14	0	16	9	11	62.0	4	2	2.0
10月	25	137	7	20	0	22	13	16	70.0	5	2	2.5
11月	24	99	6	17	0	25	14	19	95.0	10	10	5.0
12月	24	48	11	11	0	11	10	17	74.5	5	5	2.5
1月	23	84	5	35	0	48	11	22	89.5	9	9	4.5
2月	20	77	4	22	0	24	13	27	119.5	5	5	2.5
3月	26	88	6	33	0	36	19	37	197.0	9	9	4.5
累 計	287	941	89	227	0	260	150	234	1159.0	55.0	50	27.5

月	行 事							累計 (人)
	教育委員会 共催講座	園開放	年齢別 広場	子育て サロン	各種 講座	ちびっこ 会	その他 (おきがり会・託 児など)	
4月	/	/	6	1	/	/	/	7
5月	/	/	6	0	9	/	/	15
6月	11	/	/	1	8	/	100	120
7月	9	/	7	1	8	/	/	25
8月	/	/	/	1	32	/	/	33
9月	/	/	18	0	延期	/	/	18
10月	/	/	/	11	9	/	79	99
11月	30	/	11	1	延期	6	7	55
12月	/	/	16	1	/	4	/	21
1月	/	/	/	3	8	/	3	14
2月	/	/	14	4	4	4	/	26
3月	/	/	17	6	15	/	/	38
累 計	50		95	30	93	14	189	471

9 教育委員会関係委員名簿

○教育委員

教育長	青木 信一
職務代理	永島 芳晃
委員	川口 明
委員	笹川 美穂
委員	栗屋 佳洋

○学校評議員

内山 文彦	連合自治会長
奥原 利明	民生児童委員協議会長
柳川 浩司	学識経験者
笹川 岩夫	元PTA会長
奥原 都美	現PTA代表

○社会教育委員

代表	村井 千秋
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	奥原小百合
委員	寺平 單
委員	田上 利久
委員	手塚 俊彦

○公民館運営審議会委員

委員	木山澤福夫
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	奥原小百合
委員	寺平 單
委員	田上 利久
委員	手塚 俊彦

○文化財保護審議会委員

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	青木 正洋
委員	大藏 茂
委員	北川 聰
委員	久保島賢一
委員	澤頭 修自
委員	湯川 喜義
委員	奥原 由孝
委員	青木 武弘
委員	相渡 弘

○公民館

本館	公民館長	村井 千秋
藪原分館	分館長(副公民館長)	柳川 浩司
	副分館長	田中 寛幸
	主事	岩原 大輔
小木曾分館	分館長(副公民館長)	青木 利徳
	主事	寺平 單
菅分館	分館長(副公民館長)	奥原 利明
	主事	加藤 幸司
わら原分館	分館長	田上 利久
	主事	青木 求
吉田分館	分館長	松原 義彦
	主事	中村 亮一

○スポーツ推進委員

辺見 元孝
寺平 單
原 智恵
奥原 健
五月日 実
岩原 拓磨
林 翔太
工藤 春香
奥谷 妙恵子

10 木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会教育）

講座名	区分	開催日	内 容	講 師	対象者	登録人数	各参加人数	延人数	参加費	会 場	備 考
家庭教育学級	家庭	6/20	ドライフラワー講座	島口 今日子	保育園入園前の子どもと保護者		7	7		子育て支援センター	子育て支援センター共催
		7/4	アクセサリー講座	盛岡 はるか			7	7			
		11/4	プラントハンガー作り講座	秋山 景子			4	4			
		11/1,8,15	入園グッズづくり講座	原 悦子、小垣外 郷江			4,5,4	13			
音楽教室	一般	4/27,10/26	歌って元気はつらつ	青木 瑞穂	村内一般	13	12,13	25		村民センター	
県内研修(長野市)	一般	6/2	普光寺御開帳と県立美術館		村内一般	13	13	12	2,500円	長野市	
物づくり体験① お六櫛づくり	一般	4/22	お六櫛づくり(兼・新入職員研修)	北川 聰、柳川 浩司	村内一般	9	9	9	2,000円	村民センター	
絵手紙教室	一般	6/9,7/7,9/8	絵手紙で水彩・水墨画に挑戦	坂口 佳奈	村内一般	8	8,8,6	22	1,000円	村民センター	すすく大学共催
ふるさと発見講座	一般	8/5	木祖村の文化財や歴史をめぐる	文化財保護審議委員	村内一般、小中学生	大2子16	大1子13	14		村内	すすく倶楽部共催 【CS】【人権】
手話入門講座	教養	10/22	簡単な手話を学ぼう	中澤 久美香、柳川 悦子	村内一般、小中学生	7	7	7		村民センター	【人権】
県内研修②(平和学習)	一般	10/20	松代象山地下壕、上田無言館	飯島 春光	村内一般	19	19	19	4,150円	松代町、上田市	【CS】【人権】 ※中学生は阿智のため大人のみ
平和と人権講演会 ～木祖村満蒙開拓団～	一般	11/16	木祖村の満蒙開拓団について学ぶ	飯島 春光	村内一般、中学生		中学生49 一般34	83		村民センター	【CS】【人権】中学校共催
物づくり体験② Xmasフラワーアレンジメント	一般	12/7	クリスマスを彩るお花の作品を作ってみよう	林 愛子	中学生、村内一般		大人5 中学生18		1,000円	村民センター	すすく大学共催
おとなのスキー・スノボ教室	一般	2月上旬	初めの方もお久しぶりな方もスキー・スノボをやってみよう	やぶはら高原スキー学校	村内一般	7	7	7	2,500円	やぶはら高原スキー場	
物づくり体験③ 松本てまり	一般	中止	本場松本城下町で松本手毬を作ってみよう	高木 利子	村内一般		中止		2,000円	松本市	土産処たかぎ
陶芸教室	趣味	6/9	自分だけの作品づくり 村の展示会、郡シニア作品展にも出品	奥原 利明、高木 勇	村内一般	9	9,9,7,9,9,5,8	56	3,000円	小学校園工室	【CS】【人権】
	小学生	6/9,16	自分だけの作品づくり 村の文化祭展示会にも出品		小学5、6年生	20,22	42,42	84			
農業体験講座 (サツマイモ)	一般 小中学生	5/17,22,10/24	村の特産品づくりを目指して多世代で共同作業 苗定植、つる上げ、収穫	奥原 辰男	村内一般、小中学生	9	大6,9,4子42	61		翁俊さん畑	【CS】【人権】すすく倶楽部共催
農業体験講座 (トウモロコシ)	一般	5/17,5/22,8/17	村の特産品づくりを目指して 畝づくり、播種、収穫	奥原 辰男	村内一般	9	6,9,9	24		翁俊さん畑	
農業体験講座(もち麦)	一般	中止	村の特産品づくりを目指して 播種、麦踏み、収穫	倉内 伸幸、田上 芳朗	村内一般	中止	中止	中止		村内	産業振興課協力
地域図書館講座	一般 小中学生	5/29	和太鼓演奏会	和太鼓団体TAKARA	村内一般、小中学生		大54子53	107		源流図書館	
天文学セッション	一般 小中学生	中止	天体観望、4D2U(4次元宇宙)体験会	東京大学天文学教育研究センター木曾観測所	小中学生、保護者	中止	中止	中止		菅公民館	すすく倶楽部共催 木曾文化公園、木曾観測所共催
ブックスタート	家庭	10ヶ月健診時	絵本の配布	NPO法人ブックスタート	乳児検診受診親子		8			保健センター	住民福祉課共催

※CS…コミュニティスクール事業

※人権…人権教育対象事業

木祖村教育委員会・公民館学級講座（社会体育）

講座名	区分	開催日	講師	対象者	登録・参加人数	内容	参加費	会場	備考
すくすく倶楽部	体育他	4月～3月	辺見元孝	小学生 中学生	小学生89名 中学生3名	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	500円	小学校体育館他	別紙参照
シェイプアップ教室	健康	5月～7月	辺見元孝	村民一般	17名	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	1,500円	社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
体力アップ教室	健康	8月～10月	辺見元孝	村民一般	16名	個人の能力に応じた運動により体力増進		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
エアロビ教室	健康	5月～9月	平井峰子	村民一般	22名	エアロビクス		小学校体育館	10回開催 源流スポーツ大学
ヨガ教室	健康	5月～9月	神成忍	村民一般	23名	ストレッチヨガ		社会体育館	12回開催 源流スポーツ大学
水中運動教室	健康	5月～12月		村民一般	10名	水中運動	600円/回	木曾町温 水 プール	20回開催 源流スポーツ大学
社会体育館開放	健康	12月～3月		村民一般		冬季ウォーキング用に社会体育館開放		社会体育館	源流スポーツ大学
源流TC	体育	通年	教育委員会	小4～6年 中学生	36名 17名	陸上大会及び体力アップをめざした練習		小学校校庭 小・中学校 体育館	
村民体育祭 ソフトバ レー	体育	10月		村民一般				社会体育館	中止
村民体育祭 フットサル	体育	11月26日		村民一般				社会体育館	
村民体育祭 ゴルフ	体育	10月30日		村民一般	88名			木曾カントリー	
第64回木曾 川源流村内 一周駅伝大 会	体育	11月3日		村民一般	選手90名 補欠30名 監督17名 役員129名	村内一周を繋ぐ、伝統の駅伝大会		村内一円	

すく〜る・スキー

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	5月7日(土)	すく〜る(全学年)①	小学校体育館	学校体育授業の補助として開催しました。	40	0
2	5月14日(土)	すく〜る(全学年)②	小学校体育館	〃	42	1
3	5月21日(土)	すく〜る(全学年)③	小学校体育館	〃	27	0
4	7月16日(土)	すく〜る(全学年)④	小学校プール	〃	53	0
5	7月23日(土)	すく〜る(全学年)⑤	小学校プール	〃	52	2
6	8月27日(土)	すく〜る(全学年)⑥	小学校体育館	〃	26	0
7	9月3日(土)	すく〜る(全学年)⑦	小学校体育館	〃	28	0
8	9月10日(土)	すく〜る(全学年)⑧	小学校体育館	〃	30	0
9	10月8日(土)	すく〜る(全学年)⑨	小学校体育館	〃	24	0
10	1月14日(土)	スキー教室 (低学年)	やぶほら高原スキー場	〃	中止	
11	1月21日(土)				8	1
12	1月28日(土)				8	0
					338	4

物づくり体験

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	6月4日(土)	作って奏でる木祖村の音	村民センター	聞きなれた村内の音や声を思い起こしながら身近な材料を使い楽器を作ろう。	45	3
2	6月25日(土)	サンドブラスト体験	村民センター	人気講座! グラス等にオリジナルの模様を付けます!	中止	
3	8月6日(土)	絵画教室 低学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう!	21	1
4	8月9日(火)	卓上プラネタリウムを作ろう	村民センター	何気なく眺めている星空。木祖村からの見え方や季節による変化、木祖村ならではの星空の楽しみ方を知ろう。	53	1
5	8月20日(土)	絵画教室 高学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう!	27	0
6	10月29日(土)	箱でミニチュア村づくり	村民センター	ダンボールや発泡ウレタンで木祖村のジオラマを作成し、住んでいる木祖村にもっと興味を持とう!	45	1
7	11月5日(土)	クッキング①(1・3・5年生)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	15	3
8	11月12日(土)	クッキング②(2・4・6年生)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	14	0
9	12月10日(土)	未来の絵日記カレンダーをつくろう	村民センター	自分の記念日や行事予定、家族の記念日などオリジナルのカレンダーを作ろう!	37	1
10	2月18日(土)	閉講式&スノードームで雪国だより	村民センター	ガラス瓶、液体のり、パウダースノーを用いスノードームを作ろう。ビンゴ大会もあるよ!	56	3
					313	13

野外活動・体験

No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月23日(土)	開講式・レクリエーションゲーム	小学校体育館	開講式と、レクリエーションゲームを行います。	70	1
2	5月22日(日)	芋づくり体験(苗定植) (※公民館一連企画)	小木曽地区	さつまいもを育ててみよう!	39	3
3	5月29日(日)	和太鼓	小学校体育館	名古屋市の子供たちと交流しながらアウトドアクッキングなど満喫しよう。	50	3
4	6月11日(土)	釣り教室 (イベント実行委員会共催)	こだまの森	こだまの森の溪流釣り場で釣り体験をやってみよう!	51	3
5	7月27日(水)	デイキャンプアウトドア体験 (高学年・上下流交流事業)	こだまの森等	名古屋市の子供たちと交流しながらアウトドアクッキングなど満喫しよう。	中止	
6	8月5日(金)	ふるさと発見講座 (高学年)	村内	木祖村をもっと知ろう!	10	3
7	8月11日(木)	カヌー体験(PTA共催)	奥木曽湖	奥木曽湖でカヌーに乗ります。水遊びも可能!	45	1
8	10月16日(日)	芋づくり体験(芋ほり・焼き芋) (※公民館一連企画)	小木曽地区	自分たちで作ったさつまいも! 収穫・やきいも体験	中止	